

## 高齢者を地域で見守ろう

介護を行うことは、身体的・精神的にも多くの負担を伴います。介護疲れやストレス、また経済的な理由から高齢者虐待につながることもあります。また十分に介護しているつもりでも適切でない介護方法や対応によって、虐待につながっているケースも少なくありません。

高齢者虐待には、5つの種類があります。

- ①身体的虐待（暴力行為など）
- ②心理的虐待（脅す、罵る、無視するなど）
- ③介護や世話の放棄・放任（食事や水分を十分に与えない、入浴させないなど）
- ④経済的虐待（必要なお金を渡さない、本人の同意なしに預貯金を利用するなど）
- ⑤性的虐待（わいせつな行為を強要するなど）

高齢者虐待の要因は先に述べた介護疲れやストレスなどの他に、高齢者や介護者の性格や人間関係などが複雑に絡み合っており起ります。そのため、多種多様な解決方法が必要です。解決に導くためには、虐待の早期発見がとて重要になってきます。

### 高齢者虐待のサイン

#### ■高齢者の様子

- ・不自然なアザや傷、火傷のあとがある
- ・汚れたり破れた衣服を身につけ、異臭がする
- ・家の中から怒鳴り声や悲鳴が聞こえる
- ・必要と思われる診察や介護サービスを受けていない など

#### ■家族や家庭の様子

- ・世話や介護に拒否的な発言がある
  - ・高齢者に面会させない、近所づきあいが無い
  - ・部屋の中に衣類や食べ残し等が散乱し不衛生である
  - ・介護疲れや病気などで辛い様子がかげえる など
- 地域の皆さんの小さな気づきが、高齢者虐待の早期発見・早期解決につながります。町全体で高齢者を見守り、住民全員が暮らしやすいまちづくりを目指しましょう。

#### ○相談窓口

健康福祉課 高齢者支援G

☎ 00006

地域包括支援センター

☎ 0765

(健康福祉課 保健師)

## 学校コーナー

### 救助袋での避難を体験



五霞西小学校

関東大震災から90年あまり、東日本大震災から4年半がたちました。西小学校では五霞消防署の方をお招きし、避難訓練を行いました。

今回は地震を想定した避難訓練です。避難指示が出されてからグラウンドに避難しました。避難開始から3分20秒で全児童145名が「お」おさない・「か」かけない・「し」しゃべらない・「も」もどらないを守り、迅速に避難することができました。ヘルメットをきちんとかぶり、真剣な姿が印象的でした。



続いて、救助袋体験・見学を行いました。消防署の方の説明により、西小の職員も救助袋の設置の仕方を教わりました。3階の4年生教室ベランダから、救助袋を下に落としました。下では袋のフックを地面にしっかりと固定しました。袋のひもを絞って、2人の先生で持ち、避難袋を準備しました。消防署の方の合図で、さっそく開始です。

3年生と4年生の代表が緊張しながらも無事避難することができました。

今回の避難訓練で、改めて訓練の大切さを考える機会となりました。消防署の皆様方、本当にありがとうございます。

